

記載例(※申請書は鉛筆で記入して下さい。)

農業経営改善計画認定(変更)申請書

年 月 日

○ 遊佐町長 殿
山形県知事 殿
東北農政局長 殿
農林水産大臣 殿

申請者	住所	遊佐町○○字○○45番地		連絡先	Tel :○○-○○○○ Mail:○○@gmail.com
	フリガナ	ユザ コウサク	フリガナ		
	個人・法人名	遊佐 耕作		代表者氏名 (法人のみ)	
	生年月日・ 法人設立年月日	昭和○○年○○月○○日 (○○年○○月○○日設立)		法人番号	

農業経営基盤強化促進法(昭和55年法律第65号)第12条第1項(13条)の規定に基づき、次の農業経営改善計画の認定(変更)を申請します。

農業経営改善計画

①農業経営体の営農活動の現状及び目標

(1) 営農類型

現 状	目 標 (○○年)
<input checked="" type="checkbox"/> 稲作 <input type="checkbox"/> 麦類作 <input type="checkbox"/> 雑穀・いも類・豆類 <input type="checkbox"/> 工芸農作物 <input type="checkbox"/> 露地野菜 <input type="checkbox"/> 施設野菜 <input type="checkbox"/> 果樹類 <input type="checkbox"/> 花き・花木 <input type="checkbox"/> その他の作物( ) <input type="checkbox"/> 複合経営	<input checked="" type="checkbox"/> 稲作 <input type="checkbox"/> 麦類作 <input type="checkbox"/> 雑穀・いも類・豆類 <input type="checkbox"/> 工芸農作物 <input type="checkbox"/> 露地野菜 <input type="checkbox"/> 施設野菜 <input type="checkbox"/> 果樹類 <input type="checkbox"/> 花き・花木 <input type="checkbox"/> その他の作物( ) <input type="checkbox"/> 複合経営
<input type="checkbox"/> 酪 農 <input type="checkbox"/> 肉用牛 <input type="checkbox"/> 養 豚 <input type="checkbox"/> 養 鶏 <input type="checkbox"/> 養 蚕 <input type="checkbox"/> その他の畜産( )	<input type="checkbox"/> 酪 農 <input type="checkbox"/> 肉用牛 <input type="checkbox"/> 養 豚 <input type="checkbox"/> 養 鶏 <input type="checkbox"/> 養 蚕 <input type="checkbox"/> その他の畜産( )

(2) 農業経営の現状及びその改善に関する目標

	現 状	目 標 (○○年)		現 状	目 標 (○○年)	主たる従事者の人数
年間所得	600万円	800万円	年間労働時間	4,800時間	3,800時間	
主たる従事者1人 当たりの年間所得	300万円	400万円	主たる従事者1人 当たりの年間労働時間	2,400時間	1,900時間	

②農業経営の規模拡大に関する現状及び目標

(1) 生産

作目・部門名 (耕 種)	現 状		目 標 (○○年)		作目・部門名 (畜 産)	現 状		目 標 (○○年)	
	作付面積 (a)	生産量	作付面積 (a)	生産量		飼養頭数 (頭、羽)	生産量	飼養頭数 (頭、羽)	生産量
水稻	290	16,820kg	650	37,700kg	肥育牛	1,200		1,200	
飼料用米	100	6,000kg	300	18,000kg	肉用牛	50		60	
パプリカ	20	1,600kg	20	1,600kg	養豚			600	

(2) 農畜産物の加工・販売その他の  
関連・附帯事業(売上げ)

事業内容	現 状	目 標 (○○年)
	万円	万円
	万円	万円
	万円	万円

▶該当する営農類型1つに☑  
最も販売金額の高い部門(作目)が  
総販売金額の80%以上を占める場合  
は「単一経営」、80%未満の場合は  
「複合経営」とする

▶主たる従事者1人当たりの所得目標が  
概ね400万円(320万円)以上  
  
主たる従事者1人当たりの所得  
=差引金額÷主たる従事者の人数  
で計算  
※差引金額は収入金額-経費

▶主たる従事者1人当たりの年間労働時間目標が  
概ね1900時間(1520時間)以上  
  
主たる従事者1人当たりの年間労働時間  
=従事日数が190日以上の方の日数×8時間  
で計算  
※1日8時間の労働として計算

▶年間農業従事時間が概ね1900時間  
(1520時間)以上の方の人数

▶作目・部門名はなるべく細かく記載  
例) 水稻のうち、飼料用米と加工用米は別の欄に記載  
野菜は、パプリカやトマト、ナス等具体的に記載  
※特定作業受託がある場合はそちらも記載

▶現状作付面積・目標作付面積は各合計が「(3)ア 農用地の現状経営面積合計・目標経営面積合計」と等しくなるように記載

▶生産量の単位は作目・部門に応じて単位を記載

▶農畜産物を原料又は材料として使用して行う製造又は加工  
・農畜産物の貯蔵、運搬又は販売  
・農業生産に必要な資材の製造  
・作業受託(特定作業受託は含みません)  
・農泊、農業体験事業  
等について記載

(3) 農用地及び農業生産施設													
ア農用地						イ農業生産施設							
区分	所在地		地目	現 状 (a)	目標 (〇〇年) (a)	種 別	所在地		規 模				
	都道府県名	市町村名					都道府県名	市町村名	現 状		目標 (〇〇年)		
									棟	m <sup>2</sup>	棟	m <sup>2</sup>	
所有地	山形県	遊佐町	田	290	350	パイプハウス	山形県	遊佐町	1	288	1	288	
	山形県	遊佐町	畑	20	20								
借入地	山形県	遊佐町	田	100	500								
その他	山形県	遊佐町	田	—	100								
経営面積合計				410	970	経営面積合計				1	288	1	288
③生産方式の合理化に関する現状と目標・措置						④経営管理の合理化に関する現状と目標・措置							
(現 状) 水田3.9ha、畑0.2ha (パブリカ)						(現 状) 青色申告による会計処理、部門別役割なし							
(目 標) 借入等による水田の集積・集約 (8.5ha) と作業受託						(目 標) 複式簿記での青色申告、部門別役割分担 (田：本人、畑：妻)							
(具体的方策) 農地中間管理機構への斡旋依頼、地区生産組織へ農作業受託申し出						(具体的方策) 簿記講習会への参加と簿記記帳の開始、関係部署による経営診断							
⑤農業従事者の態様の改善に関する現状と目標・措置						⑥その他の農業経営の改善に関する現状と目標・措置							
(現 状) 不定期休日、家庭内労働						農業改良資金等の制度資金融資予定							
(目 標) 休日制の導入 (年間120日) 等による家族の農業従事者様態改善						(予定年度) 〇〇年度							
(具体的方策) 家庭経営協定による休日の確保と月給制の導入、外部雇用						(資金名称) 〇〇資金							
						(予定貸付額) 〇〇〇万円							

▶現状経営面積合計・目標経営面積合計はそれぞれ「②(1)生産の現状作付面積・目標作付面積」の各合計と等しくなるように記載

▶その他には**特定作業受託**を受託する農地の面積のみ記載

▶種別には、畜産、蚕室、温室その他これらに類する農畜産物の生産の用に供する施設を記載

▶生産方式の合理化に関する現状と目標・措置には、**農用地の利用条件、作目・部門別合理化の方向等**について記載  
例) 農地の集積・集約化  
・農業生産工程管理(GAP)の導入  
・生産の効率化・高度化スマート農業の推進  
・栽培・飼養に係る技術の導入  
・持続性の高い農業生産方式 等

▶経営管理の合理化に関する現状と目標・措置には、**簿記記帳等の会計処理、経営内役割分担、経営の法人化等**について記載  
例) 簿記記帳等の会計処理  
・経営内役割分担  
・経営の法人化  
・高付加価値化・ブランド化  
・新たな販路拡大や新製品の創造 等

▶農業従事者の態様の改善に関する現状と目標・措置には、**人材確保に向けた就業規則等の整備、相続・経営継承に関する取組等**について記載  
例) 人材確保に向けた就業規則等の整備  
・相続・経営継承に関する取組  
・多様な人材の育成・定着に向けた取組  
・家族間の役割分担 等

▶その他の農業経営の改善に関する現状と目標・措置には、**上記の3つ以外の取組等**を記載 (無記入可)  
農業改良資金等の制度資金の融資を受けることを予定する場合、**予定年度、予定資金、予定貸付金額等**を記載

▶主たる従事者と年間農業従事時間は**①(2)の記載と相違ない**ように記載

▶雇用者の実人数には...  
**年間を通して雇用した人の実際の人数**

延べ人数には...  
**雇用日数(※) × 実人数** を記載  
※8時間の労働で1日と換算する

(参考) 経営の構成

(1) 構成員・役員						(2) 雇 用 者								
氏 名 (法人経営にあっては役員 の氏名)	年 齢	性 別	代表者との 続柄(法人経 営にあって は役職)	現 状		見 通 し (〇〇年)		臨時雇 (年間)	実 人 数	現 状	人	見 通 し	人	
				担当業務	主たる 従事者	年 間 農 業 従 事 時 間	担当業務							主たる 従事者
遊佐 耕作	47	男	(代表者)	田・畑	○	2,600	田	○	2,000					
遊佐 あかり	40	女	妻	田・畑	○	2,200	畑	○	1,800					
遊佐 一郎	75	男	父	田		480	田		480					
遊佐 畑江	70	女	母	田		480	田		480					
									臨時雇 (年間)	実 人 数	現 状	1 人	見 通 し	2 人
									延べ人数	現 状	60 人	見 通 し	60 人	

(別紙) 生産方式の合理化に係る農業用機械等の取得計画

農業用機械等の名称	数量
トラクター 40ps (〇〇年購入予定)	1台
コンバイン 6条 (〇〇年購入予定)	1台
田植機 8条 (〇〇年購入予定)	1台
農業用機械等格納庫 (〇〇年建築予定)	1棟

▶目標年度までに購入・建設予定の農業用機械等について記載  
▶農業用機械等の名称には、機械等の名称の他に規模(仕様)、購入予定年を記載

備考

「農業用機械等の名称」欄には、生産方式の合理化のために、取得する予定の農業用の機械及び装置、器具及び備品、建物及びその附属設備、構築物並びにソフトウェア等を記載する。

(②「(3) 農用地及び農業生産施設」に記載しているものは記載不要。)